



新型コロナウイルス第4波

今年も5月を迎え、弊社は5月を終えると半期が終了となります。新型コロナは昨年11月から拡大し、主要都市部の緊急事態宣言の発動で今年3月以降、縮小傾向となりました。ただ先月4月に入ってから再度拡大傾向となり、主要都市部にまん延防止重点措置の施行を行う事態となっており、またこの急速な拡大傾向は変異型のコロナウイルスの影響と言われており、新たな脅威が身近に迫ってきている状況ではと感じております。まん延防止重点措置も一部の制限となっており、急速な感染拡大への対応に主要都市部では再度の緊急事態宣言をGW明けまで実施する事となりました。

変異型の感染力は強力と言われており、重症化しやすい可能性も指摘されています。条件はさまざまなので、一概には感染力は測れないと思いますが、ただこの急速な感染拡大が変異型の感染力と考えますと、日頃の感染防止策を確実にやっていく事が賢明ではと感じる次第です。

会社への影響も行動の制限や売上に出ております。ただまずは社員への感染防止を確実にを行い、体調には十分気を付けて頂くことが先決と考えておりますので、引き続き社員の皆様には感染防止となる、手洗い、手指消毒、うがい、マスク着用などの心がけをよろしくお願いします。そして『感染しない、感染させない』との想いで、引き続き予防に努めてまいりましょう。

それでは今月一ヶ月間、どうぞよろしくお願いします。

社長 太田 聡

編集担当：島

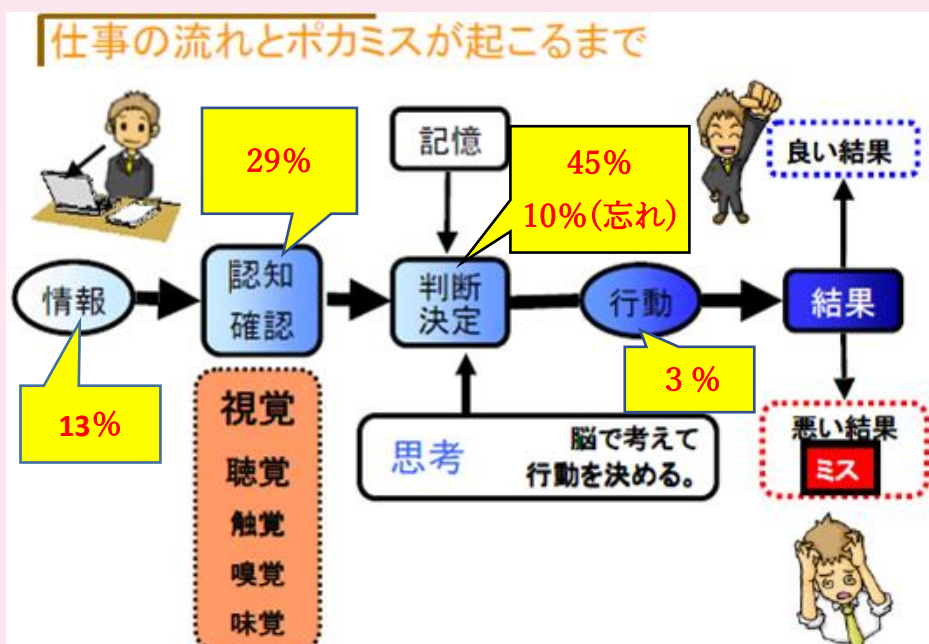
ポカミスについて（その3）

「ポカミス」発生について「なぜ起こるのか？」を前回お話いたしました。今回は「いつ？」ポカミスが起こるのかについて勉強してみましょう。

いつポカミスが起こるのか？

ポカミスにも種類があります。以下にポカミスの種類と各工程でのポカミス発生率を記載します。

- ①目標を決め計画する段階でミス
具体例：作る台数を間違えた
気付き：本人が自分の行為の誤りを発見するのが難しい
- ②実行段階ですべき行為を一時的に忘れ実行しない
具体例：工程を1つ飛ばした
気付き：後になって何かのきっかけで気付くことが多い
- ③正しい計画の実行段階で無意識に間違った行動が行われた
具体例：ねじを締めすぎて焼き付いた
気付き：発生時に自分で間違ったと気づくことが多い



段階によって気付くポカミス、気づきにくいポカミスがあります。

品質保証部

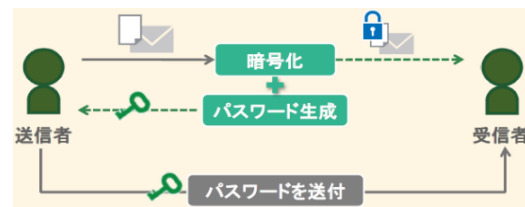
PPAP問題について(前編)

皆さん、「PPAP」とは何かご存じでしょうか。もちろん数年前に流行った動画楽曲「ペン パイナッポー アッポーペン」ではありません。

「PPAP」とは、メールでファイルを送受信する際のセキュリティ対策方法を表す略語です。その対策の手順は、ファイルをZip形式で圧縮し、暗号化してパスワードをかけたうえでメールに添付、送信し、それとは別のメールでパスワードを送信するというものです。悪意のある第三者による閲覧を防止する考え方に基づいています。

しかしこの対策、実は期待されるセキュリティ対策としての効果は得られず、逆にセキュリティリスクになってしまっているなど、問題が指摘され続けています。問題が多いこのセキュリティ対策の危険性を周知させるために、一般財団法人日本情報経済社会推進協会の専門家が当時流行っていたことを引用し「PPAP」と呼んで揶揄しました。PPAPは、この対策を端的に説明する以下の言葉の頭文字をとったものです。

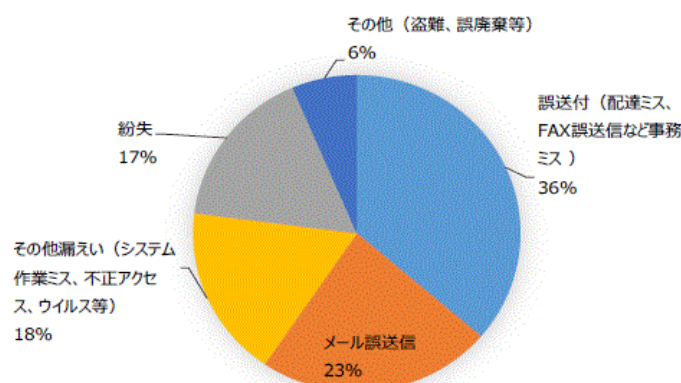
- 「P」：Password付きZipファイルを送付
- 「P」：Passwordを送付
- 「A」：暗号化
- 「P」：Protocol（プロトコル＝手順）



では、なぜPPAPに問題があるのでしょうか。大きく以下の3点とされています。

1. メールと添付ファイルを同一経路で送付
同じメールという方法で送られてくるパスワードも、同時に攻撃者の手に渡る可能性が極めて高いため、セキュリティレベルを担保できないといわれています。
2. 運用に手間がかかる
ファイルを受信した側は、ファイル毎にセットとなっているパスワードを管理し、ファイルを開く際にパスワードを入力する必要があります。
3. セキュリティ製品で検査ができない
世界規模で拡大した「Emotet」というマルウェアも同様の手法でしたが、パスワード付きZipファイルにすることで、セキュリティソフトのチェックをすり抜けてしまうケースがあります。

【個人情報漏えい事故の多くはメール誤送信】



（出所）日本情報経済社会推進協会（JIPDEC、2019年度）の資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

後編ではPPAPの代替策を紹介したいと思います。

編集担当：島

しつけの三原則 ～森 信三～

3月号で森信三先生の概要、4月号で先生の全一学という考え方について掲載しました。今回は、その全一学のひとつである「しつけの三原則」を読み解いてみたいと思います。

しつけの三原則

- ①朝のあいさつをする子に
- ②「はい」とはっきり返事をする子に
- ③席を立ったら必ず椅子を入れ、履物を揃える子に

この3つは「人間の生き方の最低基本」で親が子どもにしつけるべき根本的な3点であると森信三先生は考えていました。確かに挨拶や返事は、コロナ渦で「新しい生活様式」となり会話が控えられている中でも身振りで行われていますし、椅子をしまうなどの片付けは時代が変

わっても無くなっていない大切なことだと感じます。但し、森信三先生は、単に生活習慣としてだけでなく、これらができるようになるということは、「我(が)」がとれて、素直な気持ちになり、心の受入の姿勢が整った状態になるとも考えています。

素直な気持ちになると物事も吸収でき、自己成長にも繋がるということだと思います。当社でも皆さんが基本をしっかり行うことが、皆さんの成長とアポロ電気の発展に繋がるのではないかと思います。新入社員が入社したこの時期、先輩社員の皆様も基本を思い出し、より良い仕事に繋がっていただきたいと思います。また、新入社員の方々は基本をしっかり身につけ、活躍できる人材になるよう取り組んで欲しいと思います。基本は大切で簡単なので難しい。それを確実にやることの大切さを森信三先生という先人から学びました。

編集担当：伊藤

編集担当より

今年のGWも不要不急の外出は控えることとなりそうです。おうち時間が増えることになりそうですが、みなさんどう過ごしてますか？
おうちに籠っていると、どうしても運動不足になりがちです。近所を散策してみたら、良い運動になりそうですね。また、新しい発見があったり、気分転換になるかもしれません。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行



アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和3年5月1日